

舗装版を安定化する アスファルト注入工法

● 自走式アスファルト注入車による注入工法

既設コンクリート舗装版の下に生じた空隙や空洞に、注入材を圧入充填してコンクリート舗装版を安定させ、舗装の寿命を延ばす工法です。

中でも使用する注入材に、施工後の養生期間、充填性からセメント系より優れる、アスファルト系の注入材を用いた『アスファルト注入工法』が主流となっています。

● 特長

● リフレクションクラックの抑制

狭い空隙まで注入材が充填されるため、オーバーレイ工法で散見されるリフレクションクラック(コンクリート舗装版の目地部やクラックに沿って発生するひび割れ)が抑制されます。

● 注入圧の調整

アスファルトの注入圧力が任意に調整できるので、安全に確実な注入作業ができます。

● 早期交通解放が可能

アスファルト注入後の養生は30分程度と短時間のため、早く交通開放できます。

● 自走式アスファルト注入車による施工

自走式アスファルト注入車による施工のため、機動性に富み、1日当りの施工量が大きくなります。



自走式アスファルト注入車

● 施工

① 削孔

注入孔サイズ：
直径5cm
数：4㎡毎に1箇所
等間隔千鳥配列



② ジェッチング

注入孔内のごみ、
削孔カスなどを
取り除く作業



③ 注入孔周辺散水

注入孔から流出、
こぼれたアスファルトの
路面への付着を回避



④ 注入

⑤ 注入完了

⑥ 養生